



# Eシリーズ ネットワークスピードドーム

---

## クイック スタート ガイド

UD.6L0201D2065A02

## クイック スタート ガイド

### 本マニュアルについて

このマニュアルは、E シリーズネットワークスピードドームに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト (<http://www.graspHERE.com/>) でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

### 免責事項

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。GRASPHERE JAPAN は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて GRASPHERE JAPAN は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、GRASPHERE JAPAN は責任を負わないものとします。本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

### 規制情報

#### FCC 情報

**FCC 準拠:**この装置はテスト済みであり、FCC ルール パート 15 に規定され、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザの負担で干渉に対処する必要があります。

## FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール パート 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

## EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35 / EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

## カナダ産業省 ICES-003 準拠



本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B) の規格要件を満たしています。

## 安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用して、危険や財産の損失を避けるためのものです。予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。

**警告:** これらの警告のいずれかが無視されると、深刻な傷害または死亡が引き起こされることがあります。

**注意:** これらの注意のいずれかが無視されると、傷害または装置の損傷が引き起こされる可能性があります。

	
<b>警告</b> 重大な怪我や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	<b>注意</b> けがや重大な損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

**警告:**

- すべての電子操作は、電気安全規則、防火規則、および地域のその他の関連規則に厳密に準拠する必要があります。
- 通常の会社が提供する電源アダプタを使用してください。電源アダプタの規格については、仕様書を参照してください。消費電力が必要な値より小さくすることはできません。
- アダプタの過負荷は過熱または火災の危険を引き起こす可能性があるため、複数のデバイスを1つの電源アダプタに接続しないでください。
- スピードドームの配線、取り付け、または取り外しを行う前に、電源が切断されていることを確認してください。
- 製品を壁または天井に設置する場合は、装置をしっかりと固定する必要があります。
- 機器から煙、異臭、異音が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてからサービスセンターにご連絡ください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにご連絡ください。スピードドームを分解しないでください。(不正な修理やメンテナンスに起因する問題については一切責任を負いません。)

**注意**

- ドームを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。また、電磁波の強い放射にさらさないでください。振動のある場所や衝撃のある場所には機器を設置しないでください(機器の損傷を招く恐れがあります)。
- 極端に暑いところ、寒いところ、埃の多いところ、湿気の多い場所にドームを置かないでください。火災や感電の原因となります。動作温度については、仕様マニュアルを参照してください。
- 屋内用ドームカバーは、雨や湿気から保護してください。
- 機器を直射日光、換気扇、ヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁じられています(無

知は火災の危険を引き起こす可能性があります)。

- スピードドームを太陽や明るい場所に向けないでください。そうでなければ、ブルーミングまたはスミアが発生してもよいが(これは故障ではない)、センサの耐久性に同時に影響を及ぼす。
- ドームカバーを開けるときは付属の手袋を使用し、ドームカバーの表面には酸性の汗がドームカバーの表面コーティングを侵食する可能性があるため、ドームカバーとの直接接触を避けてください。
- ドームカバーの内側と外側をきれいにするときは柔らかく乾いた布を使用し、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。水と任意の液体から離れてカメラを保管してください。
- 長期の使用のために、すべてのラッパーを開封して保管してください。何らかの障害が発生した場合は、元のラッパーを使用してスピードドームを工場に戻す必要があります。元のラッパーを使用しない輸送は、スピードドームの損傷を招き、追加コストを招く可能性があります。

## 内容

第 1 章 インストール.....	6
1.1 フィッシュアイカメラの概要.....	6
1.2 ウォールマウント.....	8
1.2.1 ブラケットの取り付け.....	8
1.2.2 Micro SD カードのインストール.....	9
1.2.3 スピードドームのインストール.....	16
1.3 インシーリングへの取り付け.....	20
1.3.1 ミニネットワークスピードドーム.....	20
1.3.2 ミニ IR ネットワークスピードドーム.....	23
1.3.3 5 インチネットワークスピードドーム.....	26
1.4 天井への取り付け.....	30
1.4.1 ミニネットワークスピードドーム.....	30
1.4.2 5 インチネットワークスピードドーム.....	32
第 2 章 LAN 経由でドームの設定.....	38
2.1 配線.....	38
2.2 スピードドームの起動.....	39
2.2.1 ウェブブラウザによるアクティベーション.....	39
2.2.2 SADP ソフトウェアによるアクティベーション.....	40
2.3 IP アドレスの変更.....	42
第 3 章 ウェブブラウザ経由でのアクセス.....	43

## 第1章 インストール

---

### 警告:

取り付けが完了するまでスピードドームの電源を入れないでください。人員や機器の安全を確保するために、電源を切った状態ですべての取り付け作業を行う必要があります。

### 始める前に:

パッケージの内容を確認し、パッケージ内のデバイスの状態が良好で、すべてのアセンブリ部品が含まれていることを確認します。



スピードドームを持ち運ぶときは、防水グループケーブルを直接引っ張らないでください。そうしないと、防水性能や回路性能に影響を与える可能性があります。

### 1.1 フィッシュアイカメラの概要

---

ネットワークスピードドームのケーブルインターフェイスは、次の2つの図に示されています。ケーブルは、異なる色によって区別されます。識別のため、ケーブルに添付されているラベルを参照してください。



ケーブルはモデルによって異なる場合があります。

**スピードドームのケーブル:**

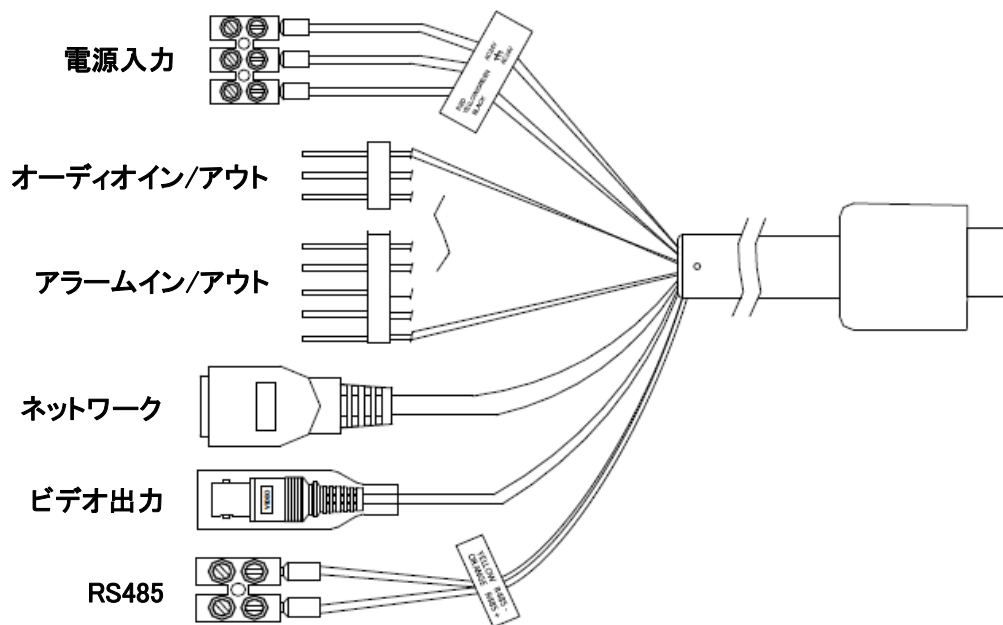


図 1-1 ネットワークスピードドームのケーブル



## 1.2 ウォールマウント

### 1.2.1 ブラケットの取り付け



- スピードドームは、スレッドインターフェイスまたは非スレッドインターフェイスブラケットにインストールできます。非スレッドブラケットを強くお勧めします。
- ねじブラケットを選択するときは、付属のペンダントアダプタをブラケットとスピードドームの間に取り付けてください。ミスマッチの問題は、ユーザが責任を負うものとします。
- ペンダントアダプタの寸法は  $G1\frac{1}{2}$  です。
- セメントの壁には、ブラケットを固定するために拡張ネジを使用する必要があります。
- 壁がドームとブラケットの重量の少なくとも 8 倍に耐える程度に強いことを確認してください。
- 壁は、拡張ネジを取り付けるのに十分な厚さでなければなりません。

スピードドームを取り付ける方法はいくつかあります。このセクションでは、非スレッドブラケットのインストールを例として取り上げます。詳細については、次の手順を参照してください。

手順:

1. 次のように、ブラケットとネジを梱包箱から取り出します。

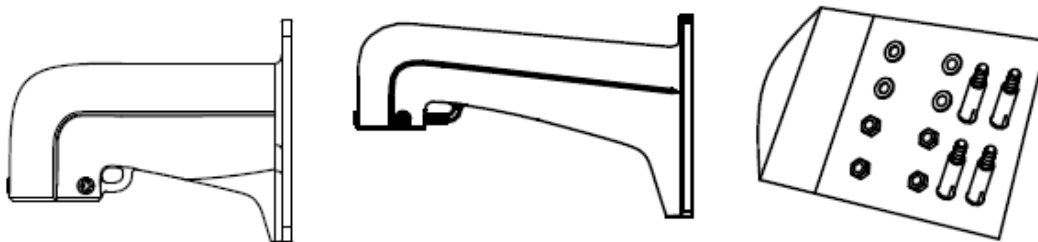


図 1-2 ウォールマウント用ブラケットおよびアクセサリ

2. ブラケットの穴の位置に合わせて、壁に  $\phi 12$  のネジ穴を 4 つドリルし、M8 拡張ネジをネジ穴に挿入します。

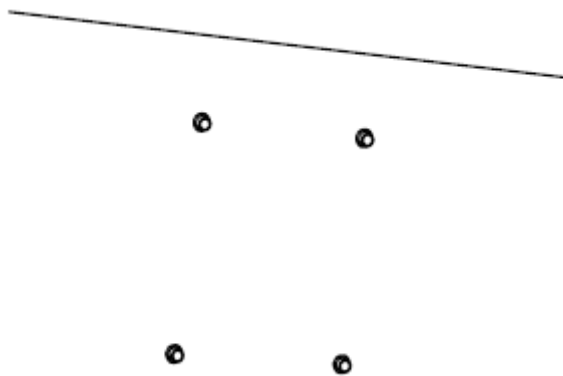


図 1-3 ドリルネジ穴と挿入ネジ

3. ブラケットを 4 本の六角ナットとワッシャーで固定します。

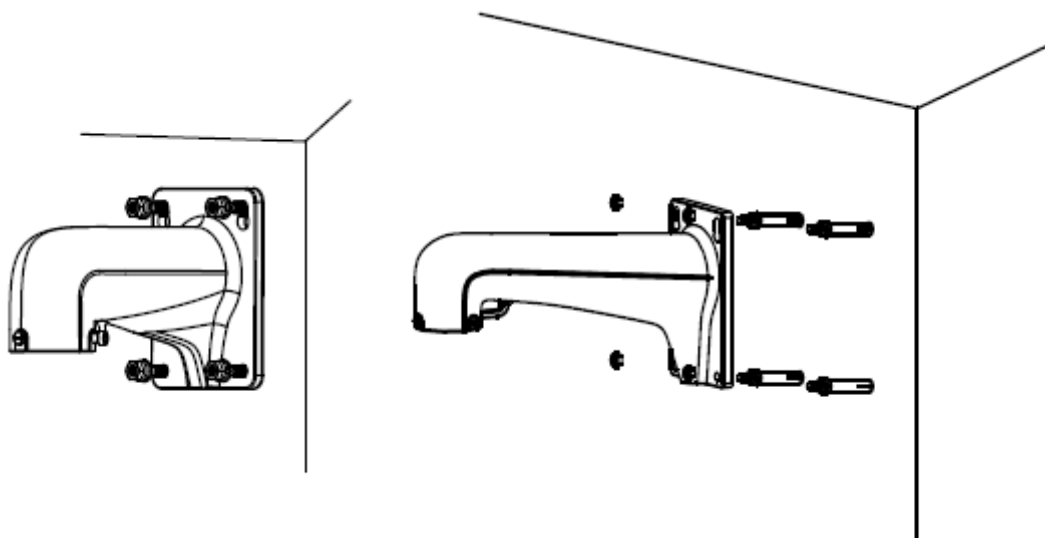


図 1-4 ネジ穴をドリルする



屋外のスピードドームを設置するときは、防水対策を施してください。

### 1.2.2 Micro SD カードのインストール

#### 目的:

スピードドームには、マイクロ SD カードを搭載したローカルストレージ用のマイクロ SD カードスロットが内蔵されています。スピードドームには以下の 4 種類があります。

- **ミニネットワークスピードドーム:**ミニネットワークスピードドームのマイクロ SD カードスロットを以下に示します。



ミニネットワークスピードドームの異なるモデルのための SD カードスロットの 2 つの場所があります。

実用性を基準にしてください。

micro SD カードを取り付ける手順は次のとおりです。

手順:

1. 下部ドームの端にある 2 つの固定ネジを緩め、下部ドームを取り外します。

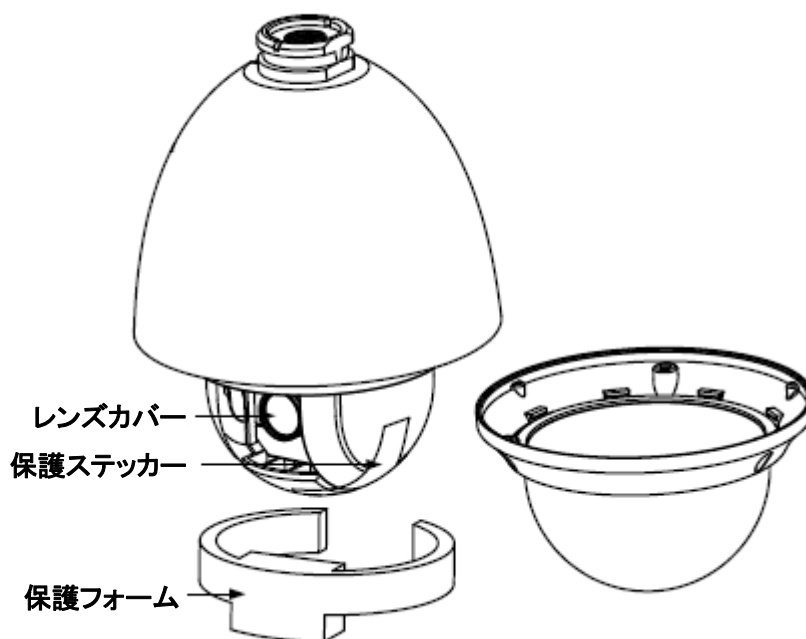


図 1-5 保護アクセサリを取り外す

2. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーを取り外します。
3. マイクロ SD カードをマイクロ SD カードスロットに合わせて挿入します。

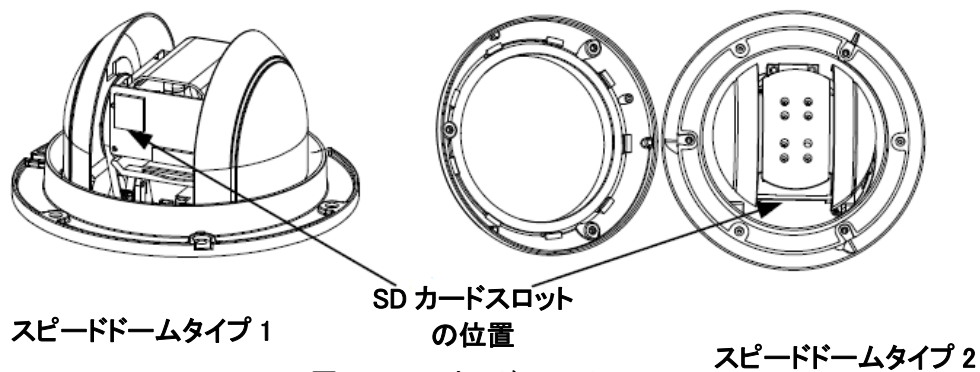


図 1-6 SD カードスロット

4. 下部ドームを取り付け、2本の固定ネジを締めます。
- **ミニ IR ネットワークスピードドーム:** マイクロ SD カードスロットはリアカバーの内側にあります。ここでは屋外ミニ IR ネットワークスピードドームを例にとっています。micro SD カードを取り付ける手順は次のとおりです。

**手順:**

1. リアカバーの4本のネジを緩めます。リアカバーを取り外します。
2. SD カードを正しい方向にスロットに挿入します。SD カードがクリックされていることを確認してください。
3. リアカバーをスピードドームに戻して取り付けます。リアカバーを4本のネジで固定します。

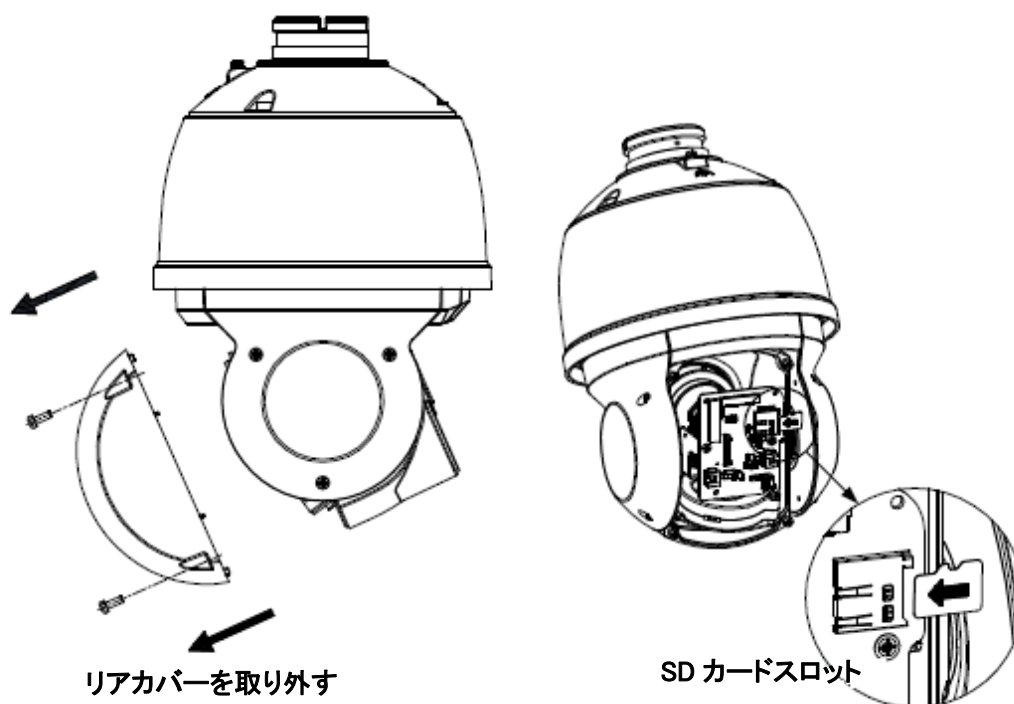


図 1-7 マイクロ SD カードスロット(ミニ IR スピードドームタイプ I)

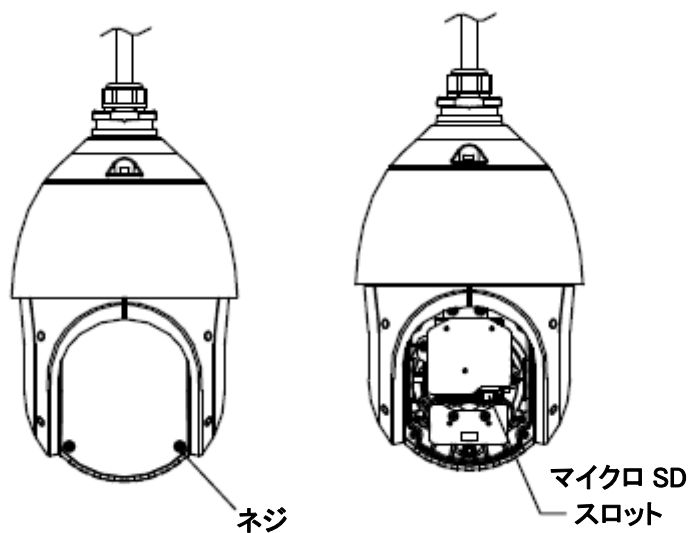


図 1-8 マイクロ SD カードスロット(ミニ IR スピードドームタイプ II)

- 5 インチネットワークスピードドーム:5 インチネットワークスピードドームのマイクロ SD カードスロットを以下に示します。



ミニネットワークスピードドームの異なるモデルの SD カードスロットの 2 つの場所があります。実用性を基準にしてください。

micro SD カードを取り付ける手順は次のとおりです。

手順:

1. 下部ドームの端にある 2 つの固定ネジを緩め、下部ドームを取り外します。
2. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーを取り外します。

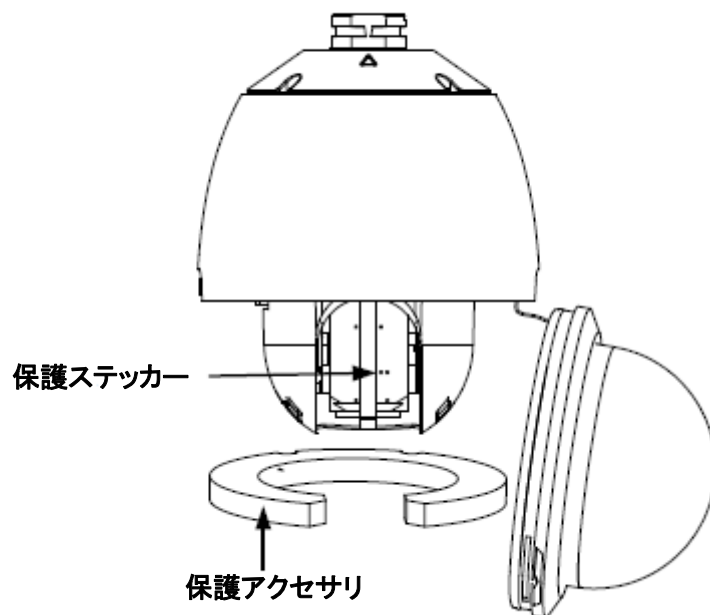


図 1-9 保護アクセサリを取り外す

3. マイクロ SD カードをマイクロ SD カードスロットに合わせて挿入します。

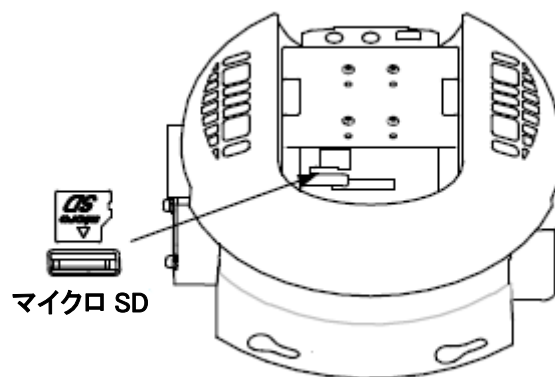


図 1-10 マイクロ SD カードスロット

4. 下部ドームを取り付け、2本の固定ネジを締めます。
- 5 インチ IR スピードドーム:SD カードスロットはリアカバーの内側にあります。

手順:

1. 図 1-11 に示すように、スピードドームの背面にあるカバーを取り外します。
2. 黒色のゴムキャップを脇に押し、その下に SD カードスロットが見えます。
3. SD カードを SD カードスロットに挿入し、キャップを取り付けてカバーを元に戻します。

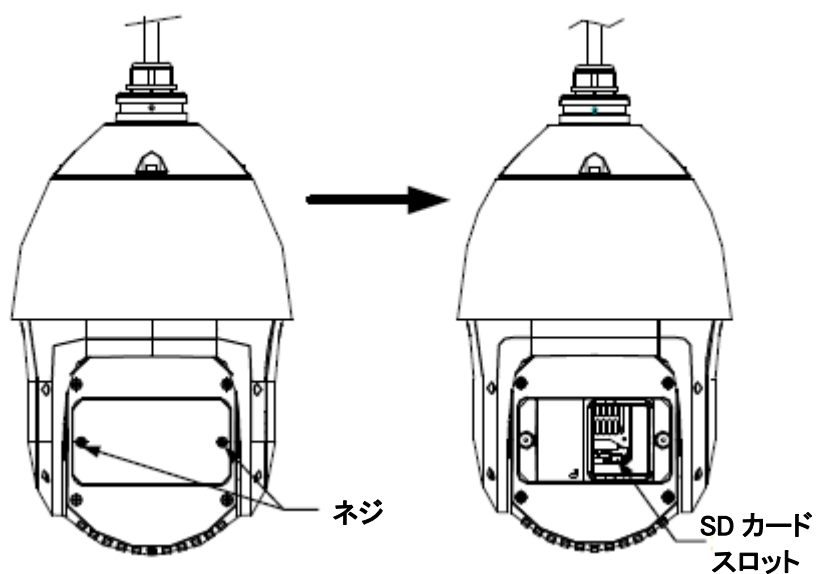


図 1-11 SD カードスロット

**● 6 インチ IR ネットワークスピードドーム****手順:**

1. リアカバーの 4 本のネジを緩めます。リアカバーを取り外します。
2. SD カードを正しい方向にスロットに挿入します。SD カードがクリックされていることを確認してください。
3. リアカバーをスピードドームに戻して取り付けます。リアカバーを 4 本のネジで固定します。

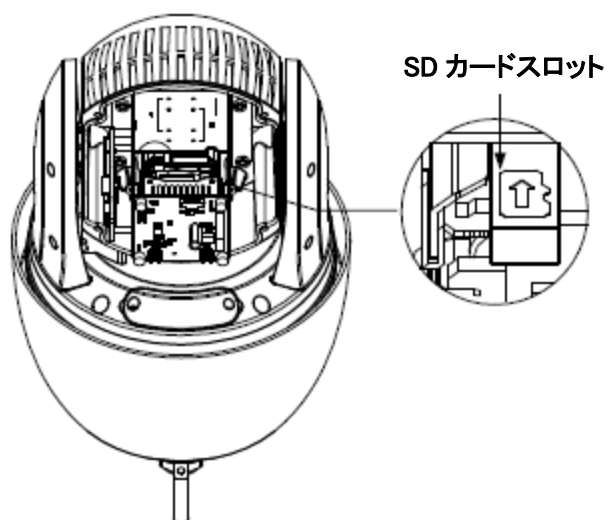


図 1-12 マイクロ SD カードスロット

- **7 インチ IR ネットワークスピードドーム:** マイクロ SD カードスロットはリアカバーの内側にあります。ここでは屋外ミニ IR ネットワークスピードドームを例にとっています。micro SD カードを取り付ける手順は次のとおりです。

**手順:**

1. リアカバーの 4 本のネジを緩めます。リアカバーを取り外します。
2. SD カードを正しい方向にスロットに挿入します。SD カードが所定の位置に挿入されていることを確認します。
3. リアカバーをスピードドームに戻して取り付けます。リアカバーを 4 本のネジで固定します。



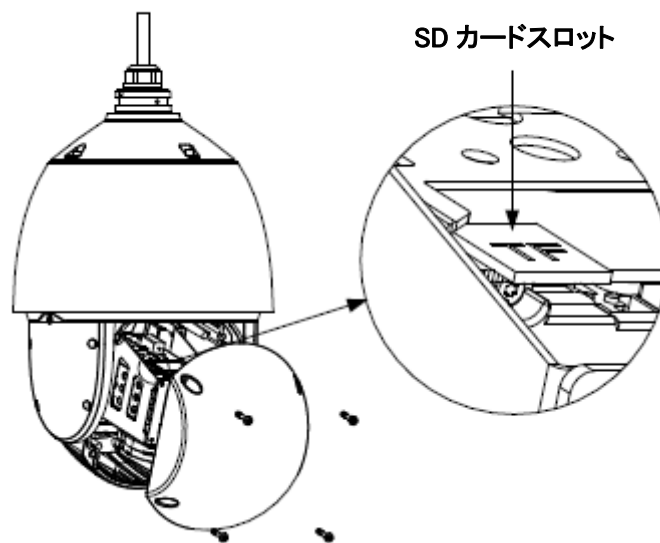


図 1-13 マイクロ SD カードスロット

### 1.2.3 スピードドームのインストール

#### スピードドームのインストール



- 取り付けが完了したら、下部ドームの保護フィルムを取り外してください。
- 手で直接、下部ドームのバブルを触れないでください。それ以外の場合は画像がぼやけます。

#### 手順:

1. 安全ロープの 2 つの端をスピードドームのバックボックスとブラケットにそれぞれ引っ掛けます。次のように、ケーブルをブラケットに通します。

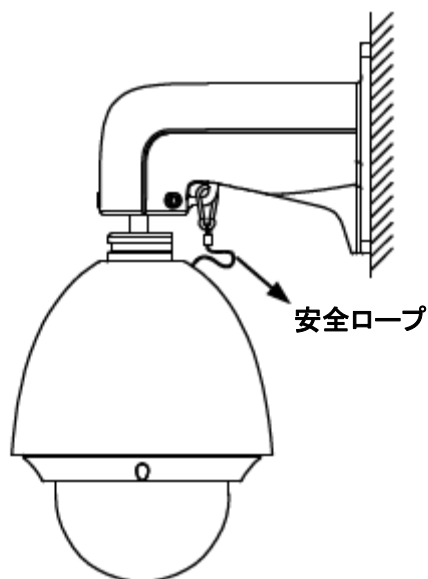


図 1-14 安全ロープ

2. 下図のようにブラケットのロックネジをゆるめます。
3. スピードドームをブラケットに合わせ、下に示すようにブラケットに反時計回りまたは時計回りに回します。

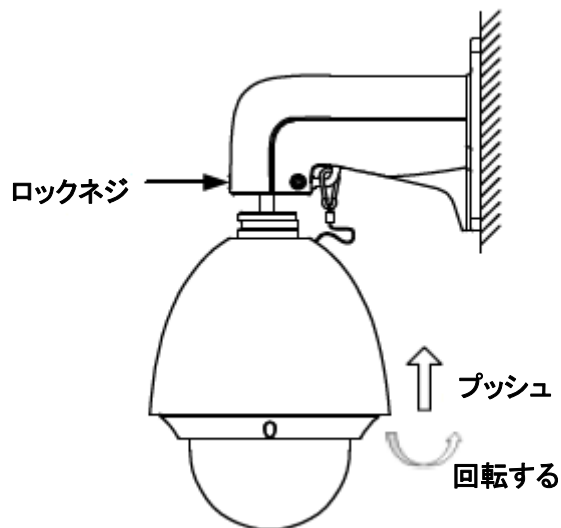


図 1-15 ブラケットに合わせる

4. スピンドルドームとブラケットを固定するには、Lレンチを使用してロックネジを締めます。

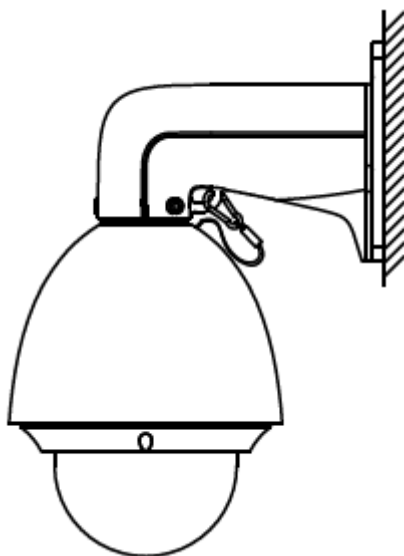


図 1-16 ロックネジを締める

### IR スピードドームのインストール

#### 手順:

1. 図 1-17 に示すように、安全ロープをスピードドームに掛け、ブラケットにフックします。

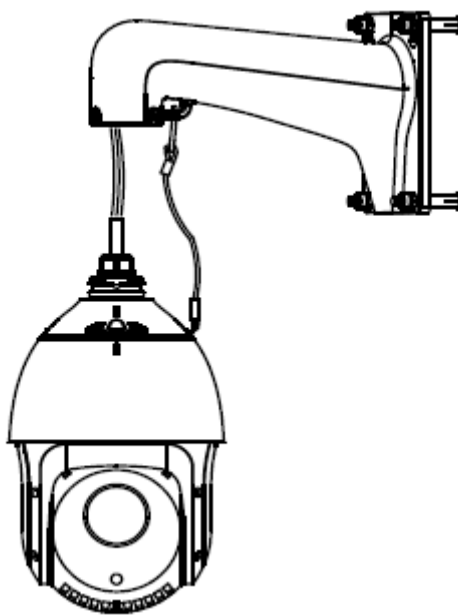


図 1-17 ドームをマウントする

2. スピードドームのケーブルをブラケットに通します。
3. 対応するネットワーク/電源ケーブルを接続します。
4. ブラケットの 2 つのロックネジを六角レンチで緩めます。
5. ブラケットにスピードドームを取り付け、スピードドームを時計回りに回してスピードドーム

を固定します。

6. 2本のロックネジを六角レンチで固定します。

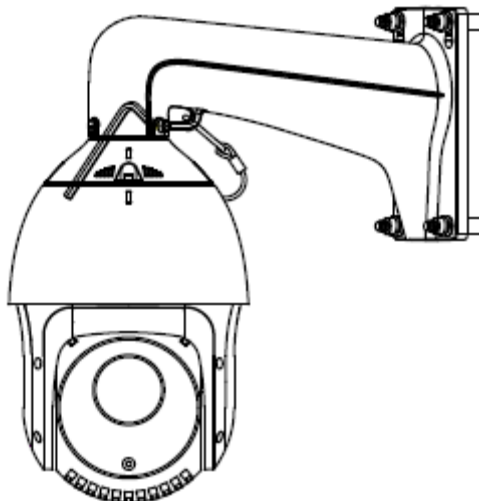


図 1-18 ロックネジを締める

7. IR ランプの保護フィルムを取り外します。



保護フィルムは、機種によって異なる場合があります。

### 1.3 インシーリングへの取り付け



- 天井の上のスペースの高さは 250mm 以上でなければなりません。
- 天井は 5~40mm の厚さでなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

#### 1.3.1 ミニネットワークスピードドーム

手順:

1. 天井に穴を開けます。
  - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
  - 2) 穴をカットし、ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。



円の直径の±2mm は許容されます。

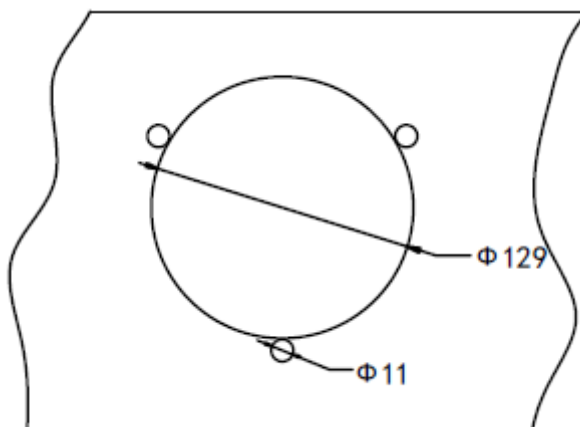


図 1-19 ドリルテンプレート

2. スピードドームを分解します。
  - 1) 3本のネジを緩め、下側のドームを取り外します。
  - 2) ネジ3本を緩めて、バックボックスを取り外します。
  - 3) 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。

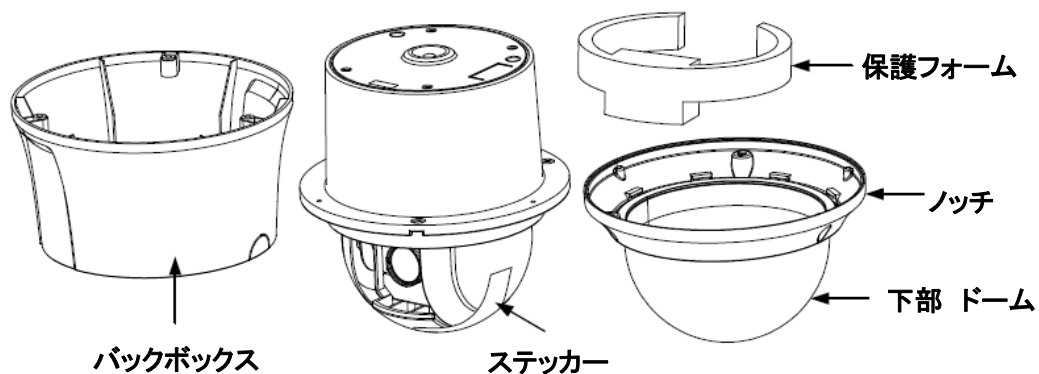


図 1-20 スピードドームを分解する

3. トグルボルトを取り付けます。
  - 1) トグルボルトからトグルを取り外します。
  - 2) 図 1-21 に示すように、ボルトをドームのネジ穴に挿入します。

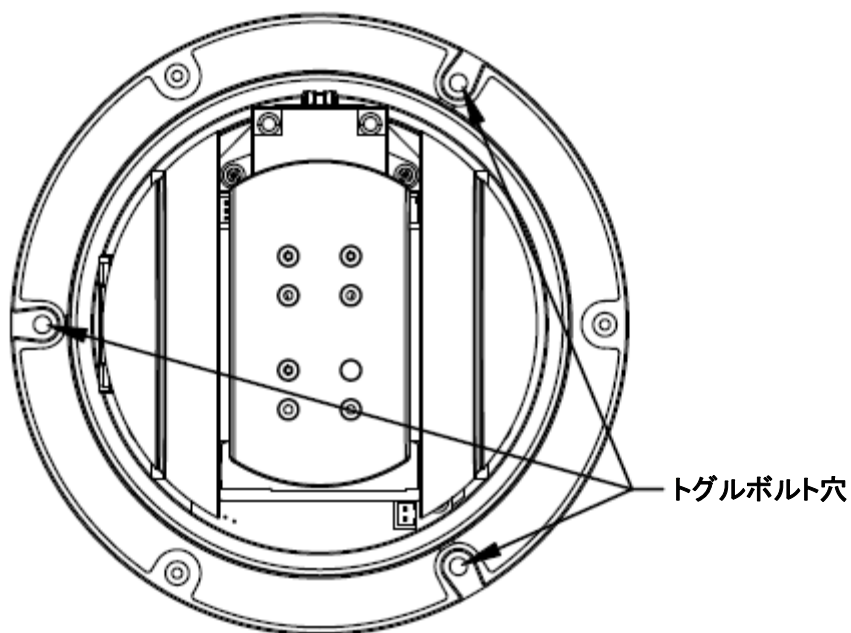


図 1-21 トグルボルト穴

- 3) ネジ穴にボルトを回します。
- 4) 図 1-22 に示すように、トグルを再インストールします。

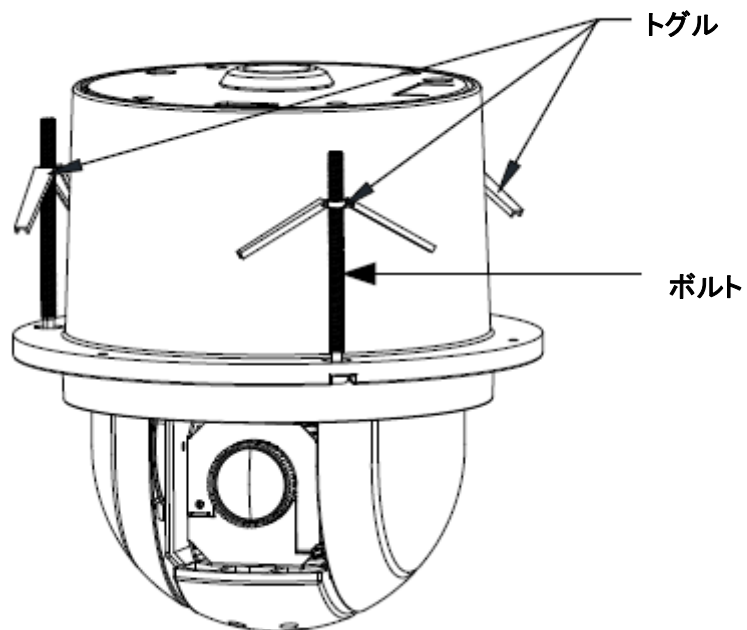


図 1-22 トグルボルトの取り付け

4. トグルボルトを天井のネジ穴に合わせます。
5. ドームを天井の取り付け穴に押し込みます。
6. もう一度ボルトを回してください。トグルが自動的に下に回転し、ドームを天井に固定します。

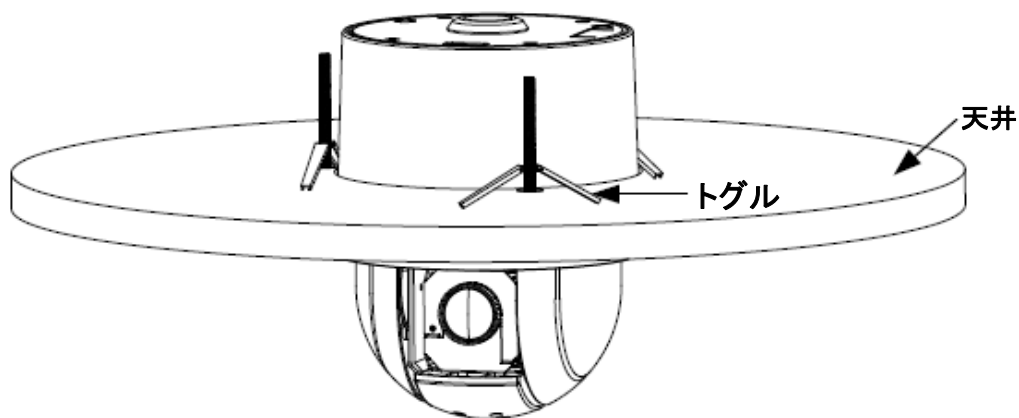


図 1-23 ドームを天井に設置する

7. 図 1-24 に示すように、下部ドームを 3 本のネジでバックボックスに固定します。

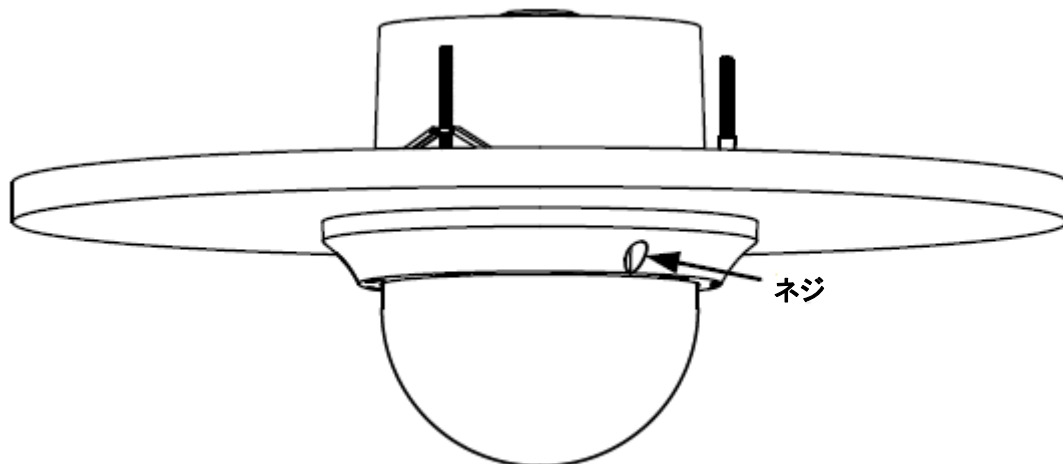


図 1-24 下部ドームのインストール

8. スピードドーム用のケーブルを天井に通してください。

### 1.3.2 ミニ IR ネットワークスピードドーム

始める前に:

屋内天井には、インシーリング取り付けすることができます。

手順:

1. 天井に穴を開けます。
  - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
  - 2) 穴をカットし、ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。



円の直径の±2mm は許容されます。



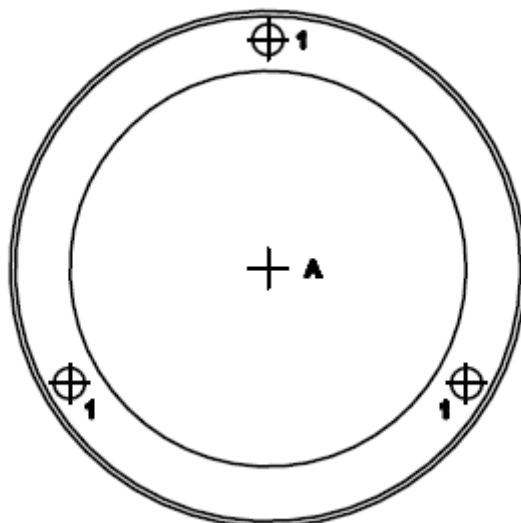


図 1-25 ドリルテンプレート

2. スピードドーム用のケーブルを天井に通します。
3. トグルボルトを取り付けます。
  - 1) トグルボルトからトグルを取り外します。
  - 2) ボルトをドームの 3 つのネジ穴に挿入します。
  - 3) 3 本のネジ穴にボルトを回します。
  - 4) 図 1-26 に示すように、トグルを再インストールします。

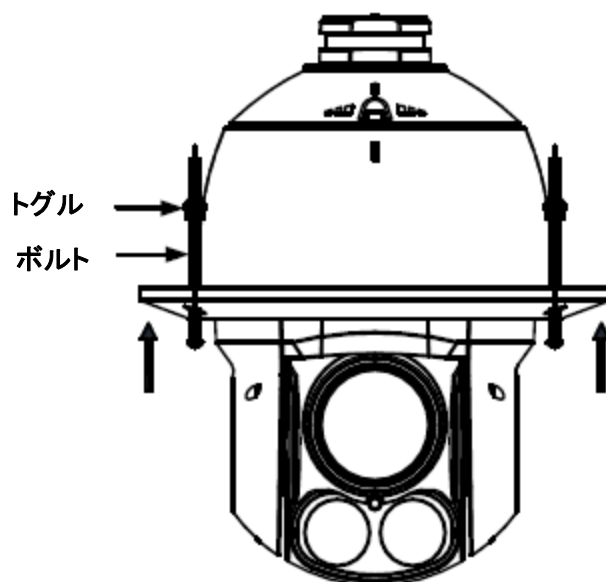


図 1-26 トグルボルトの取り付け

4. トグルボルトを天井のネジ穴に合わせます。
5. ドームを天井の取り付け穴に押し込みます。

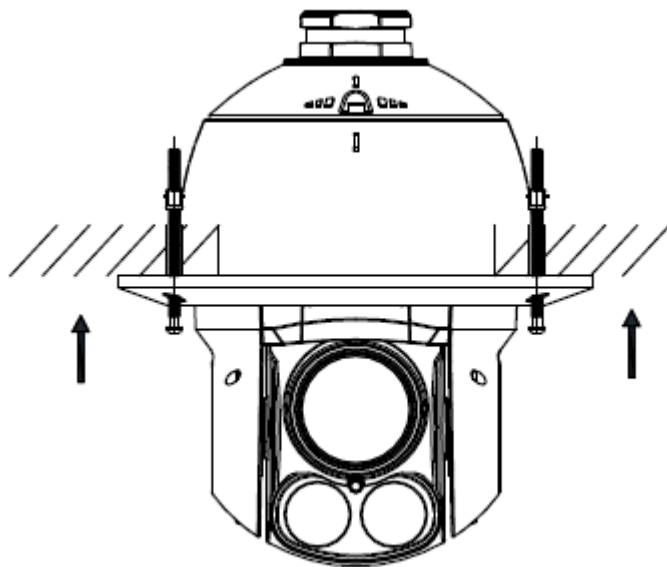


図 1-27 取り付け穴に押し込む

6. もう一度ボルトを回してください。トグルが自動的に下に回転し、ドームを天井に固定します。

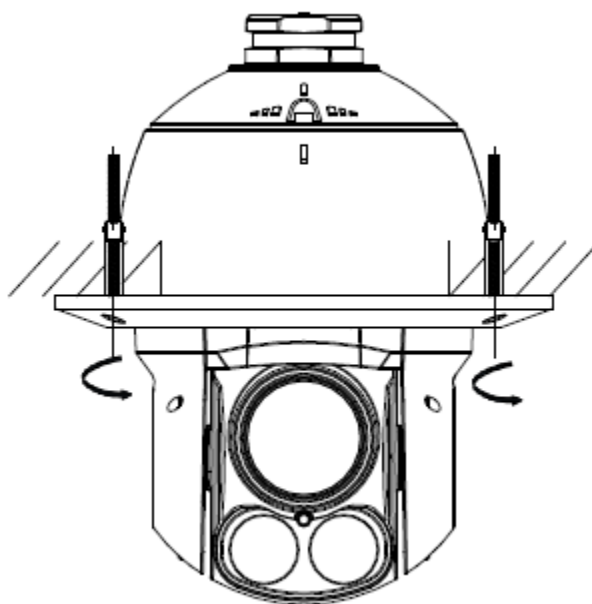


図 1-28 ドームを天井に設置する

7. IR ランプの保護フィルムを取り外します。



保護フィルムは、機種によって異なる場合があります。

### 1.3.3 5 インチネットワークスピードドーム

#### 手順:

1. 天井に穴を開けます。
  - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
  - 2) 穴をカットし、ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。



円の直径の±2mm は許容されます。

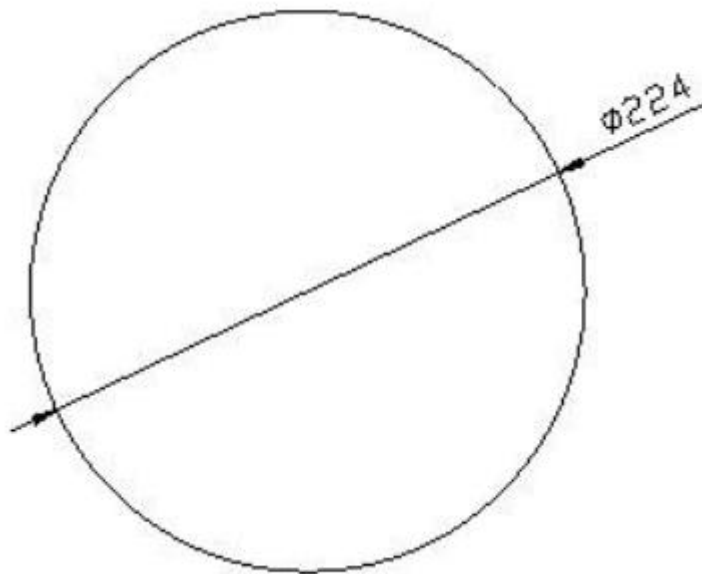


図 1-29 ドリルテンプレート

2. 図 1-30 に示すように、下部ドームを反時計回りに回して、バックボックスから分離します。
3. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。
4. バックボックスの下部ドームを取り付け、時計回りに回して固定します。

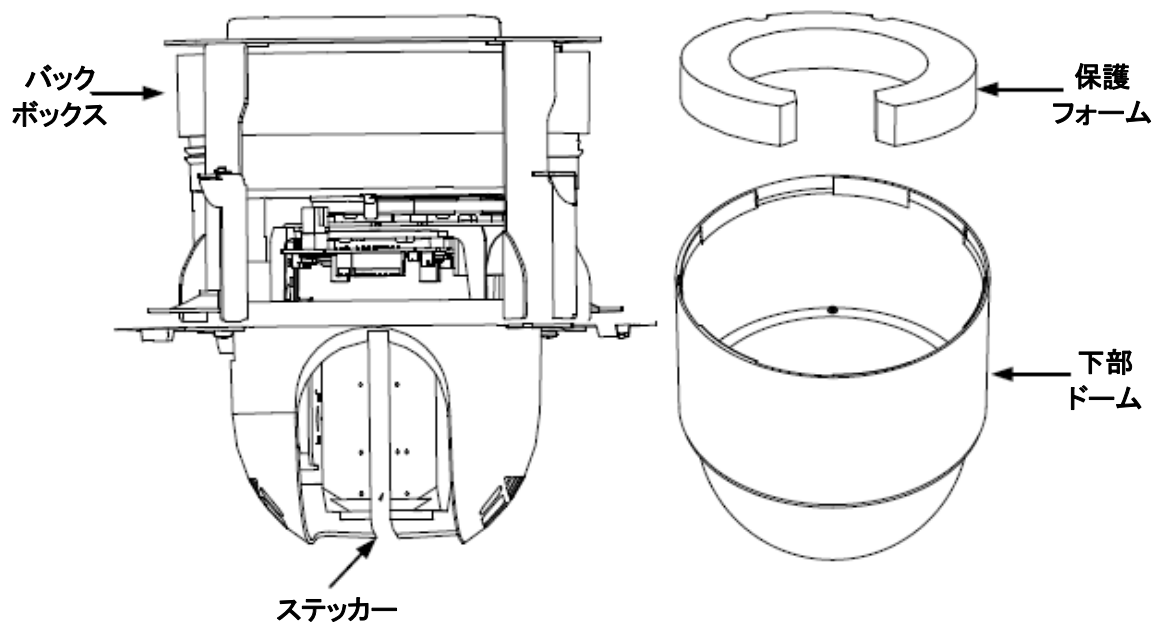


図 1-30 保護アクセサリを取り外す

## 5. ケーブルを接続します。

電源ケーブルを接続すると、電源がオンになった時に赤い LED インジケータが点灯します。



スピードドームを確認してから電源を切ってください。

## 6. スピードドームを取り付けます。

- 1) 次の図に示すように、バックボックスの両側にある 2 つのロックネジを緩め、ロックを内部の位置に合わせます。

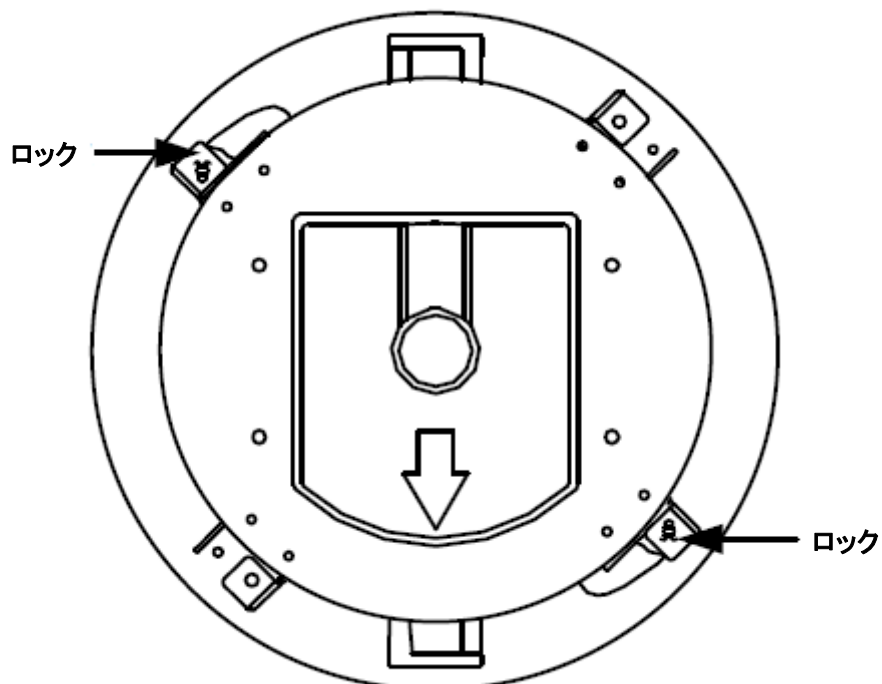


図 1-31 ロックとロックネジ

- 2) バックボックスを天井の取り付け穴に押し込みます。
- 3) ドライバーでロックネジを締めると、ロックが自動的に外側に回転して、天井ブラケットを天井に固定します。

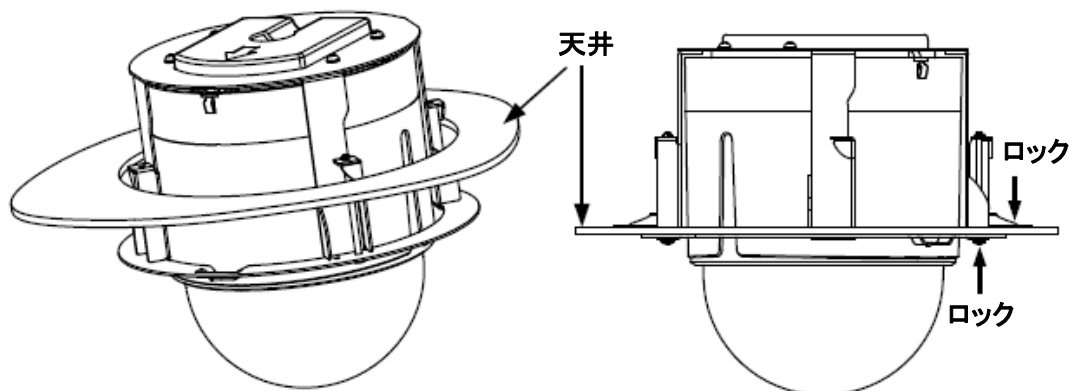


図 1-32 バックボックスをインストールする

7. トリムリングを取り付けます。
  - 1) トリムリングを下部ドームに取り付け、トリムリングの三角ノッチを天井のブラケットの矢印ラベルに合わせます。

- 2) トリムリングを天井にしっかりと取り付けたら、トリムリングを矢印の方向に回転させて、トリムリングを所定の位置に固定します。



- 取り付けが完了したら、下部ドームの保護フィルムを取り外してください。
- 鮮明なビデオ画像を得るために、スピードドームを取り付けるときに、静電気防止手袋を着用してください。

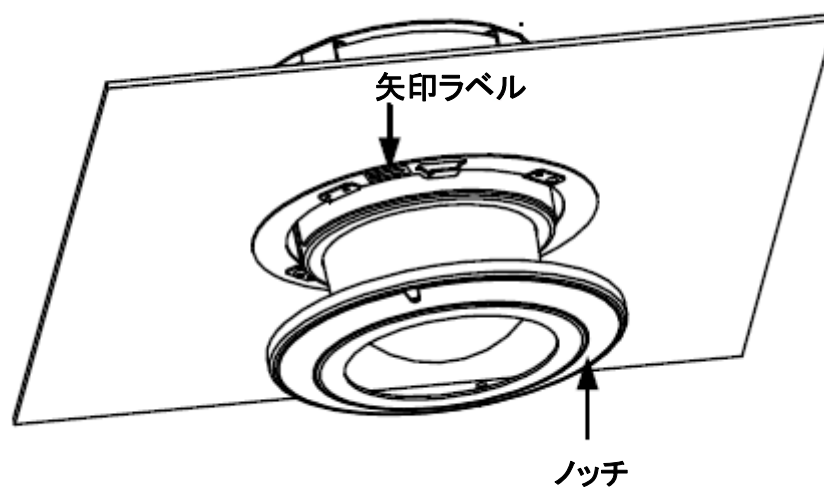


図 1-33 トリムリングをインストールする

## 1.4 天井への取り付け



- 天井の上のスペースの高さは 250mm 以上でなければなりません。
- 天井は 5~40mm の厚さでなければなりません。
- 天井は、ドームと付属品の重量の 4 倍以上に耐えられるほど強くなければなりません。

### 1.4.1 ミニネットワークスピードドーム

#### 手順

1. 天井に穴を開けます。
  - 1) スピードドームを取り付ける必要がある天井にドリルテンプレートを取り付けます。
  - 2) ドリルテンプレートに応じて、ネジ穴とケーブル穴(オプション)をドリルします。

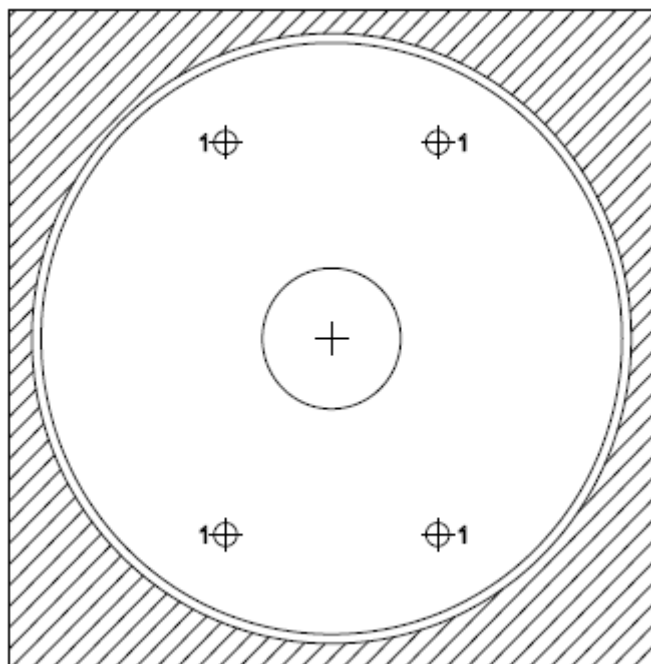


図 1-34 ドリルテンプレート

2. スピードドームを分解します。
  - 1) 次の図に示すように、3 本のネジを緩めます。
  - 2) 下部のドームを取り外します。
3. 図 1-35 に示すように、保護用レンズカバー、フォーム、およびステッカーをドームドライブから取り外します。
4. バックボックスに下部のドームを取り付け、ネジで固定します。

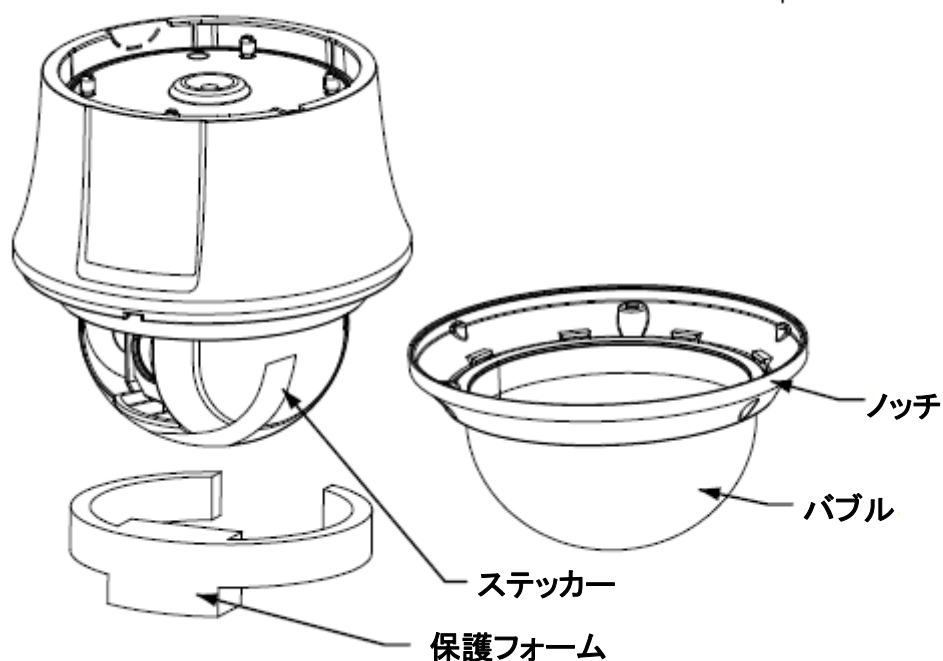


図 1-35 スピードドームを分解する

- 天井ブラケットをドリルテンプレートのネジ穴に合わせます。次のようにネジ(付属)で天井に、天井ブラケットを固定します。

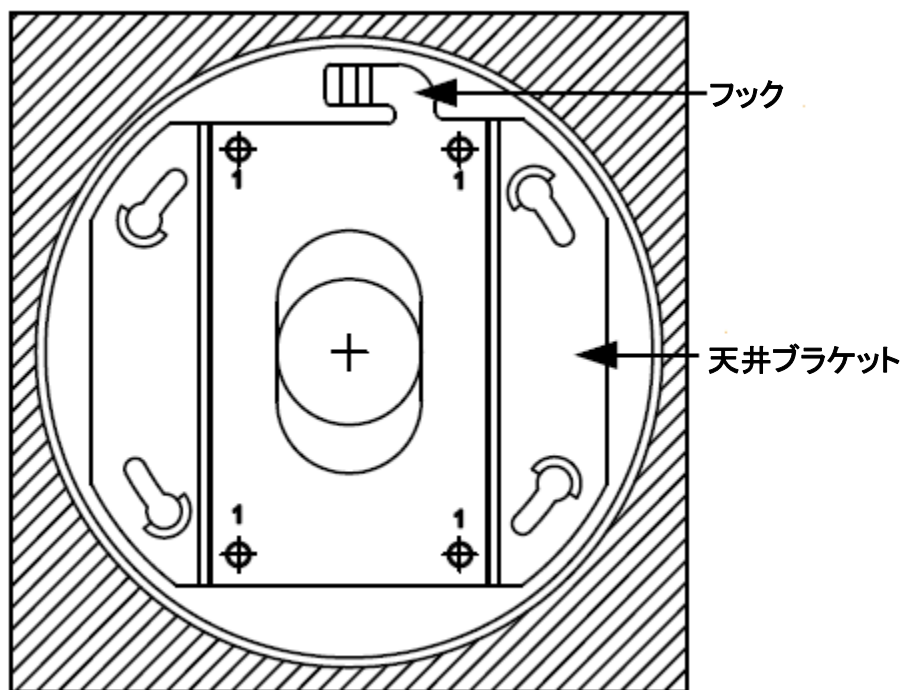


図 1-36 天井マウントをインストールする



- 天井のフックをスピードドームのロック解除ラベルに合わせます。
- スピードドームを天井マウントに押し込み、時計回りに回して固定します。

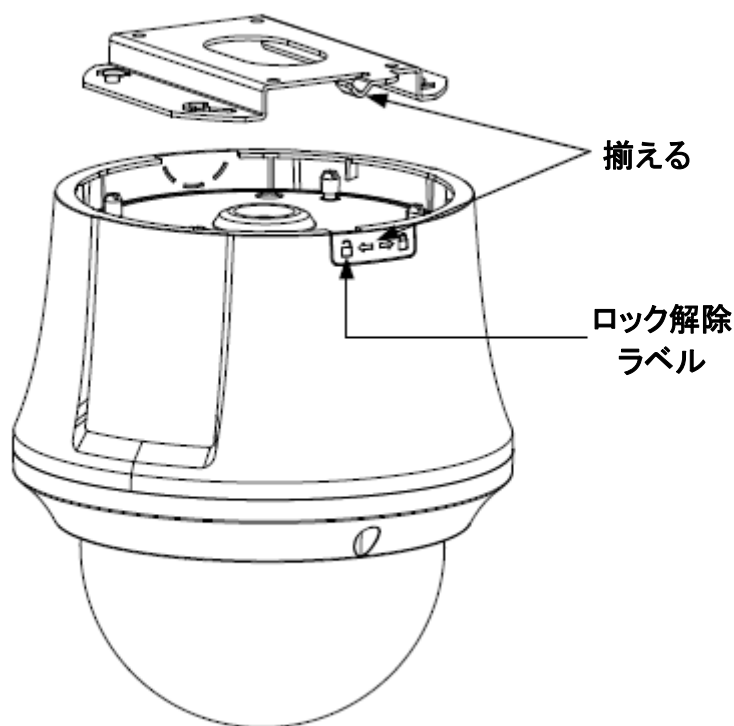


図 1-37 スピードドームを設置する



- セメントシーリングマウントの場合は、マウントを固定するために拡張ネジを使用する必要があります。壁面の拡張パイプの取り付け穴は、マウントの取り付け穴に合わせてください。
- 木製の天井に取り付ける場合は、ブラケットを固定するためにタッピングねじを使用だけです。

#### 1.4.2 5 インチネットワークスピードドーム

##### 天井取り付け部の取り外し:

スピードドームは、デフォルトでは天井に設置されています。スピードドームを天井に取り付ける前に、天井にあるマウントを先に取り外す必要があります。

##### 手順:

1. 図 1-38 のように 4 本のネジを緩めて取り外します。

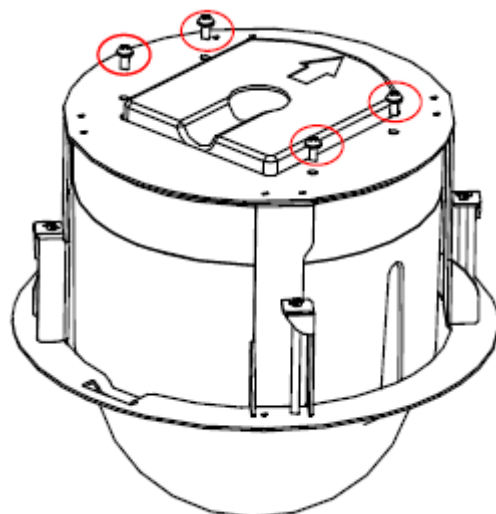


図 1-38 ねじを取り外す

2. 天井にあるブラケットを取り外します。

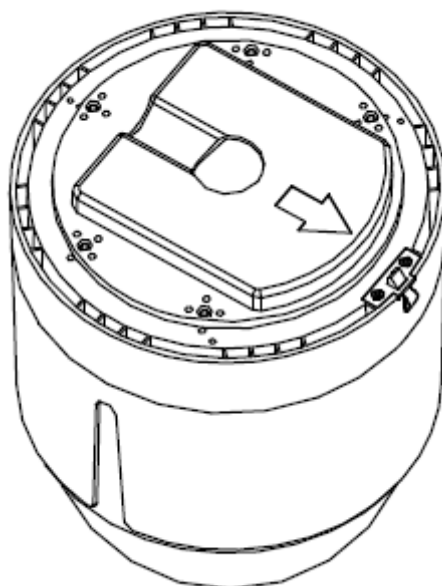


図 1-39 ブラケットを取り外す

3. 図 1-40 に示すように、ネジ穴に 4 本のボルトを取り付けます。

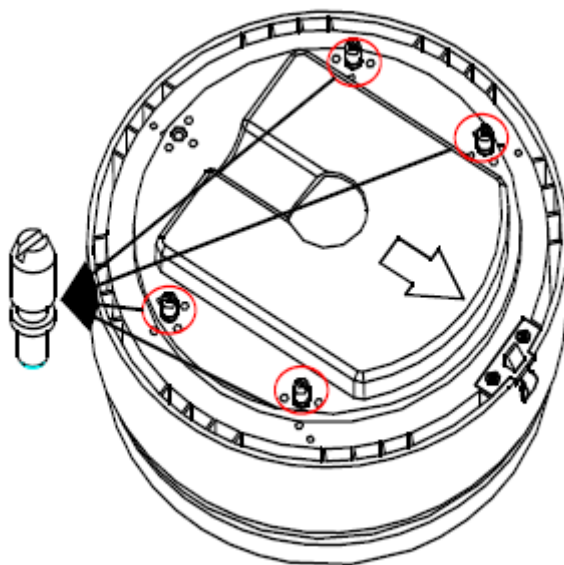


図 1-40 ボルトを取り付ける

**ルーティング方法:**

図 1-41 に示すように、ドームのケーブルはバックボックスの上面または側面から配線することができます。バックボックスの上部から配線されたケーブルの場合、ケーブル穴を天井にドリルする必要があります。

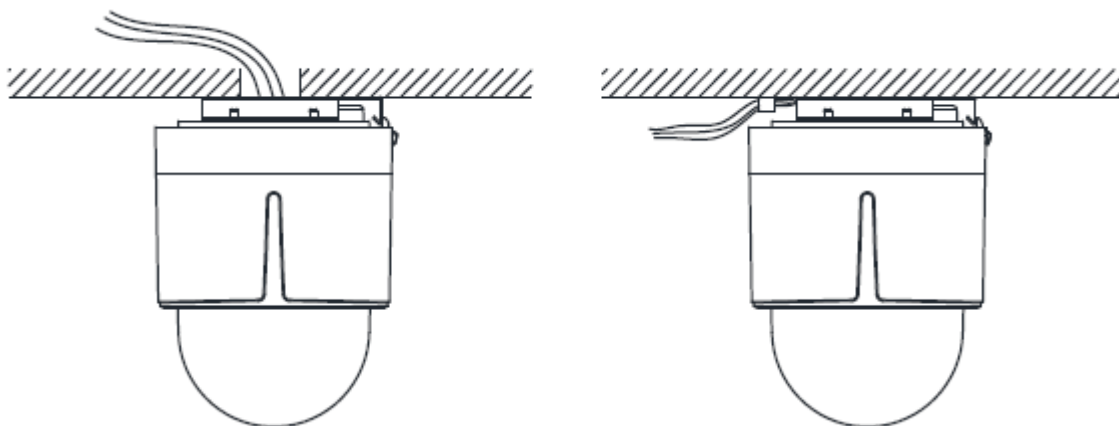


図 1-41 天井へのケーブル接続

**インストール:****手順:**

1. 下部のドームを反時計回りに回して、バックボックスから分離します。
2. 保護レンズカバー、フォーム、ステッカーをドームドライブから取り外します。
3. バックボックスの下部ドームを取り付け、時計回りに回して固定します。
4. テンプレートとして取り付けベースを使用して、天井に4つのネジ穴をマークします。
5. バックボックスの上部からケーブルを配線する場合は、ケーブルの穴を天井にマークし、

穴を開けます。

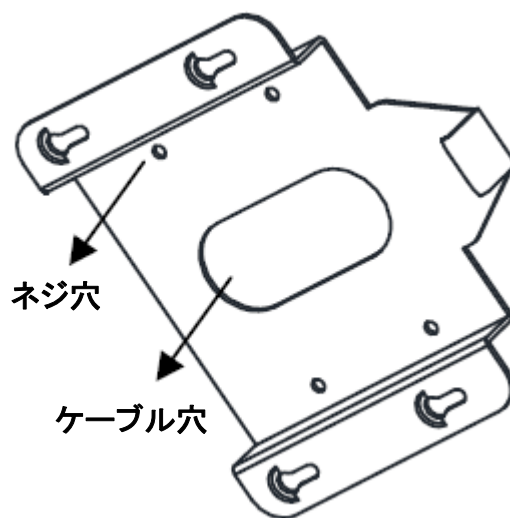


図 1-42 ネジ位置をマークする

6. 取り付けネジを使用して、取り付けベースを天井に固定します。
  - ◆ スピードドームが木製の壁に取り付けられている場合は、タッピングねじを使用して取り付けベースを固定します。
  - ◆ ドームがセメントの壁に取り付けられている場合は、穴の位置に合わせて壁にΦ5 の穴を 3 つドリルし、穴にセメントのネジを差し込み、最後にセルフタッピングネジを使用して壁面に固定します。

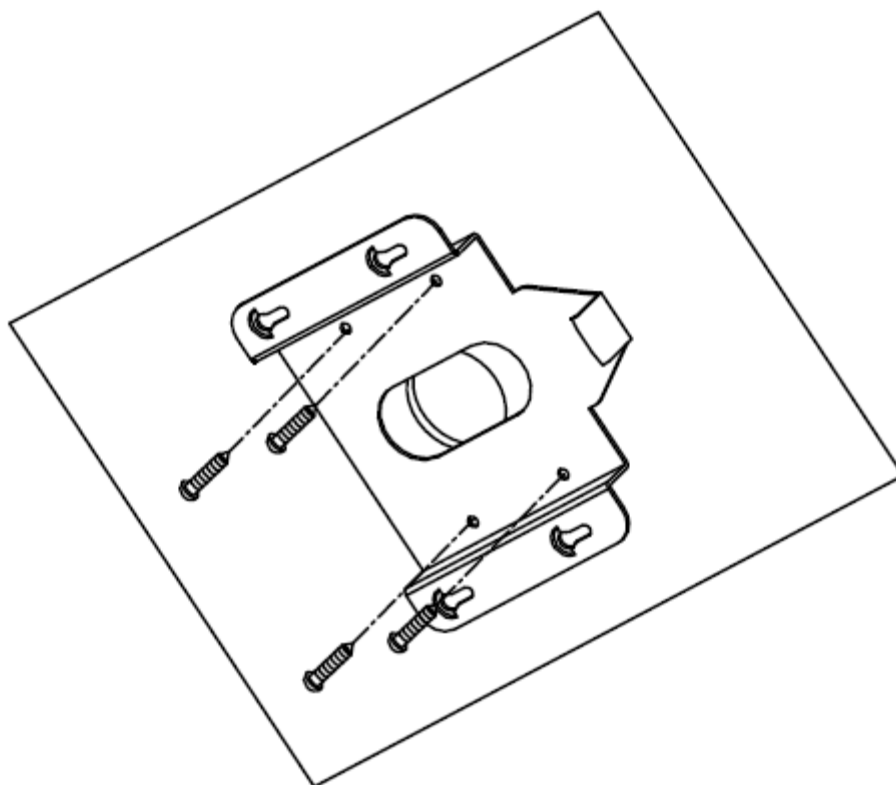


図 1-43 取り付けベースを固定する

7. スピードドームを取り付けベースに取り付けます。
  - 1) スピードドーム用のケーブルを配線します。スピードドームの底部を取り付けベースに合わせます。
  - 2) 矢印の方向を取り付けベースのスプリング端に合わせます。
  - 3) スピードドームを上方に押し、次に矢印の方向に前方に押します。スピードドームが定位置に置かれると、スプリングが自動的にロッククリップにしっかりとスナップします。次の図を参照してください。

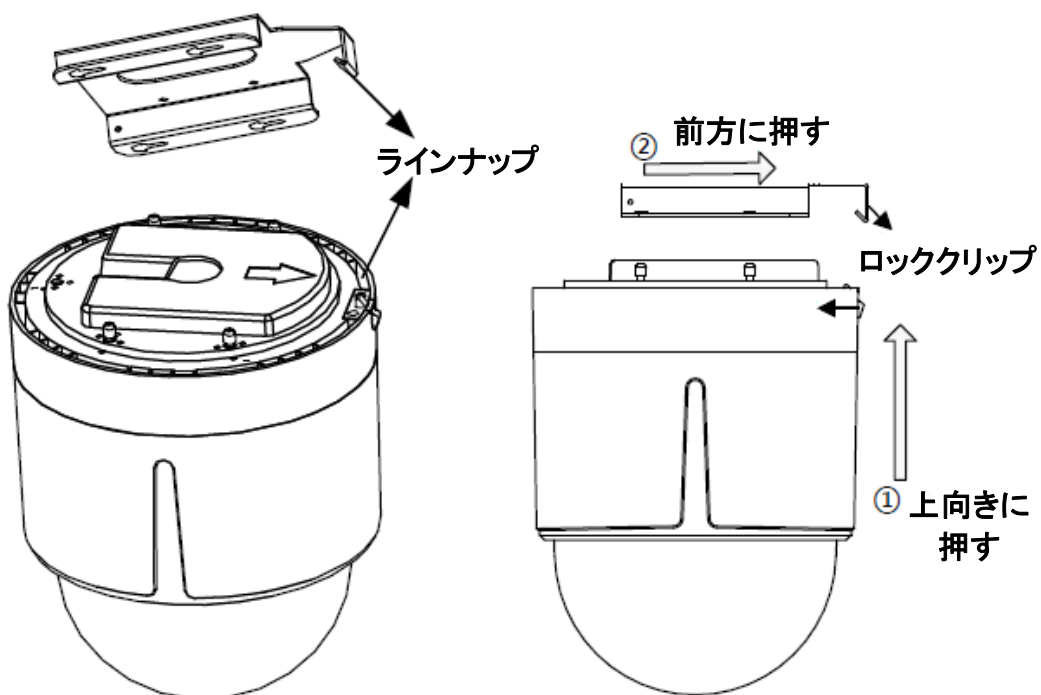


図 1-44 バックボックスをマウントベースに取り付ける



- 取り付けが完了したら、下部ドームの保護フィルムを取り外してください。
- 手で直接に下部ドームのバブルに触れないでください。或いは画像がぼやけます。

## 第 2 章 LAN 経由でドームの設定

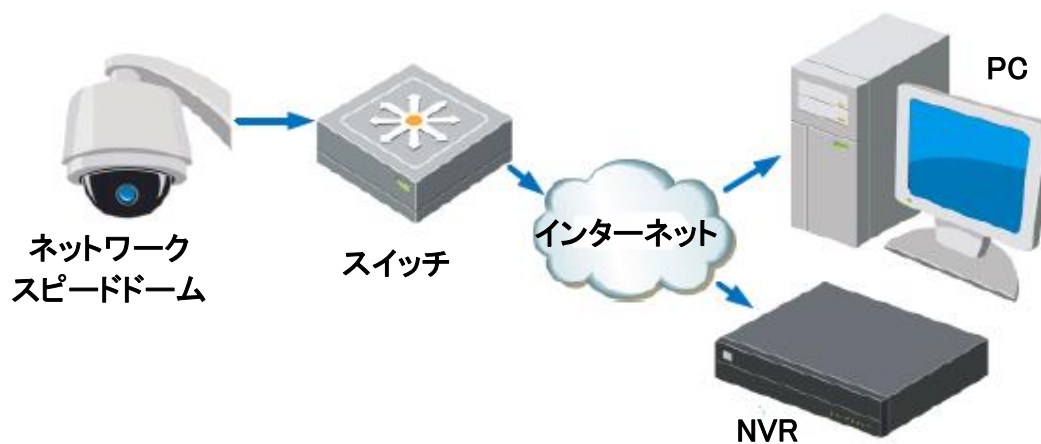


お客様は、インターネットアクセスを持つ製品の使用がネットワークセキュリティリスクの下にある可能性があることを認識します。ネットワーク攻撃や情報漏洩を避けるために、お客様自身の保護を強化してください。製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにご連絡ください。

### 2.1 配線

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由でスピードドームを表示および設定するには、PC と同じサブネット内のネットワークスピードドームを接続する必要があります。次に、SADP またはクライアントソフトウェアをインストールして、ネットワークスピードドームの IP を検索および変更します。

次の図は、ネットワークスピードドームのケーブル接続を示しています。



## 2.2 スピードドームの起動

### 目的:

スピードドームを使用するには、最初に強力なパスワードを設定してスピードドームをアクティブにする必要があります。

ウェブブラウザによるアクティベーション、SADP によるアクティベーション、およびクライアントソフトウェアによるアクティベーションがサポートされています。次のセクションでは、ウェブブラウザと SADP を使用したアクティベーションを例として取り上げます。有効化の詳細については、クライアントソフトウェアを使用してスピードドームのユーザーマニュアルを参照してください。

### 2.2.1 ウェブブラウザによるアクティベーション

#### 手順:

1. スピードドームの電源を入れ、スピードドームをネットワークに接続します。
2. IP アドレスをウェブブラウザのアドレスバーに入力し、**エンター**をクリックしてアクティベーションインターフェイスに入ります。



スピードドームのデフォルトの IP アドレスは 192.168.1.64 です。

3. パスワードを作成し、パスワードフィールドにパスワードを入力します。



**強力なパスワードの推奨**— お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの)を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。



5. OK をクリックしてスピードドームを有効にし、「ライブビュー」インターフェイスに入ります。

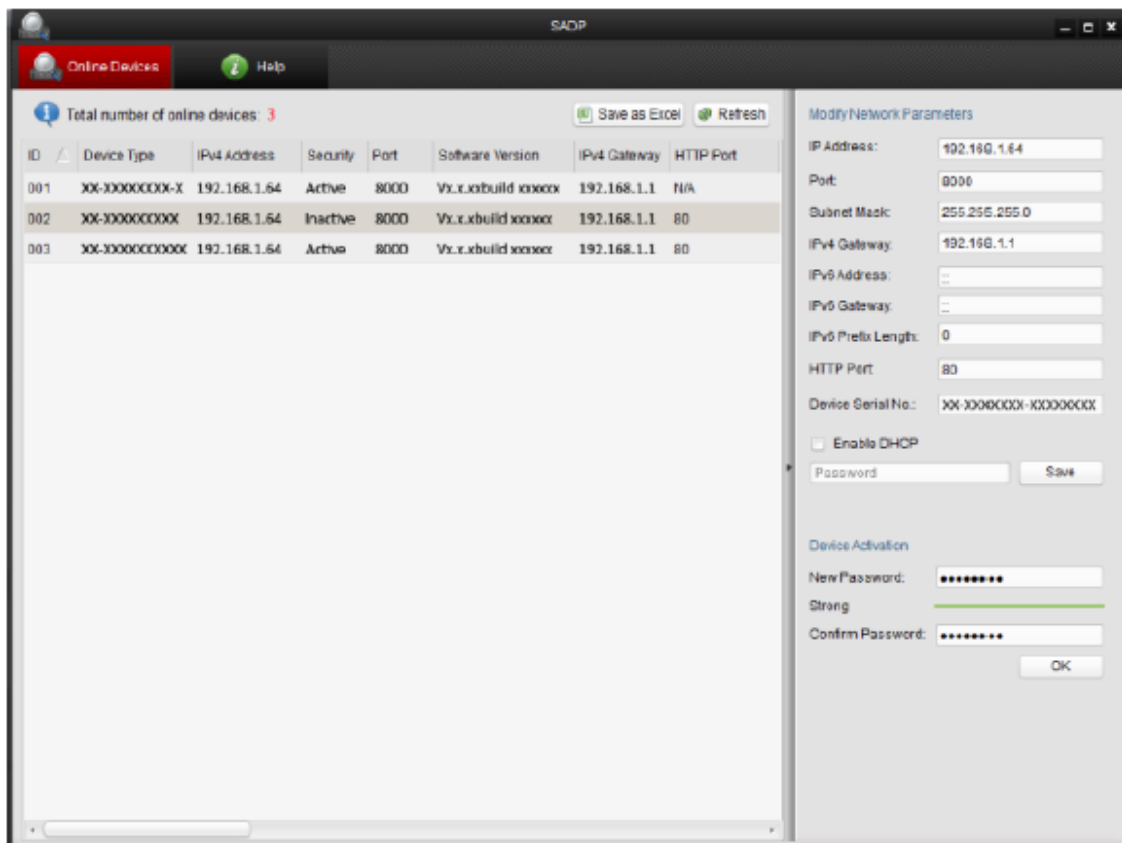
## 2.2.2 SADP ソフトウェアによるアクティベーション

SADP ソフトウェアは、オンラインデバイスの検出、デバイスのアクティブ化、およびパスワードのリセットに使用されます。

提供されたディスクまたは公式のウェブサイトから SADP ソフトウェアを入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。スピードドームを作動させる手順に従ってください。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行して、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスを確認し、非アクティブデバイスを選択します。



3. パスワードを作成し、パスワードフィールドにパスワードを入力し、パスワードを確認します。



**強力なパスワードの推奨** お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの)を作成することを強く推奨します。また、定期的パスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週

パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. **OK** をクリックしてパスワードを保存します。  
ポップアップウィンドウでアクティベーションが完了したかどうかを確認できます。アクティベーションに失敗した場合は、パスワードが要件を満たしていることを確認してから、もう一度やり直してください。

## 2.3 IP アドレスの変更

### 目的:

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由でスピードドームを表示および設定するには、PC と同じサブネット内のネットワークスピードドームを接続する必要があります。次に、SADP ソフトウェアまたはクライアントソフトウェアをインストールして、ネットワークスピードドームの IP を検索および変更します。IP アドレスの変更を紹介する例として、SADP ソフトウェアを経由で IP アドレスを変更します。

### 手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブなデバイスをクリックして選択します。



スピードドームが作動していない場合は、「2.2 項」を参照してスピードドームを作動させてください。

3. IP アドレスを手動で変更するか、「DHCP を有効にする」チェックボックスをオンにして、デバイスの IP アドレスをコンピュータと同じサブネットに変更します。

Modify Network Parameters	
IP Address:	192.168.1.64
Port:	8000
Subnet Mask:	255.255.255.0
IPv4 Gateway:	192.168.1.1
IPv6 Address:	::
IPv6 Gateway:	::
IPv6 Prefix Length:	0
HTTP Port:	80
Device Serial No.:	XX-XXXXXXXX-XXXXXXXX
<input type="checkbox"/> Enable DHCP	
Password	Save

図 2-4 IP アドレスを変更する

4. パスワードを入力し、**保存**をクリックして IP アドレス変更を有効にします。

## 第 3 章 ウェブブラウザ経由でのアクセス

### システム要件:

**オペレーティングシステム:** Microsoft Windows XP SP1 以上のバージョン / Vista / Win7 / Server 2003 / Server 2008 32 ビット


**CPU:** Intel Pentium IV 3.0 GHz 以上

**RAM:** 1G 以上

**ディスプレイ:** 1024 × 768 以上の解像度

**ウェブブラウザ:** Internet Explorer 8.0 以上、Apple Safari 5.02 以上、Mozilla Firefox 5 以上、Google Chrome 18 以上

### 手順:

1. ウェブブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーに、ネットワークスピードドームの IP アドレス (192.168.1.64 など) を入力し、Enter キーを押して「ログイン」インターフェイスに入ります。
3. 初めてスピードドームを使用する場合は、「2.2 スピードドームの起動」を参照してください。
4. ユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。



管理者ユーザーが 7 回失敗したパスワード試行 (ユーザー/オペレータに対して 5 回試行) を実行すると、デバイスの IP アドレスがロックされます。

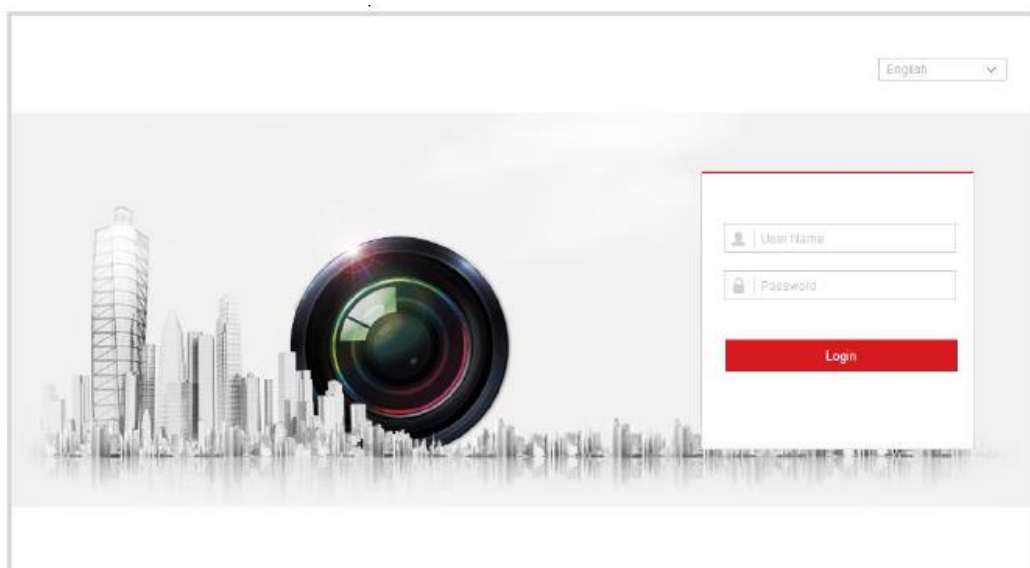


図 3-1 ログインインターフェイス

5. ライブビデオを表示し、ネットワークスピードドームを管理する前に、プラグインをインストールします。



プラグインのインストールを終了するには、Web ブラウザを閉じる必要があります。

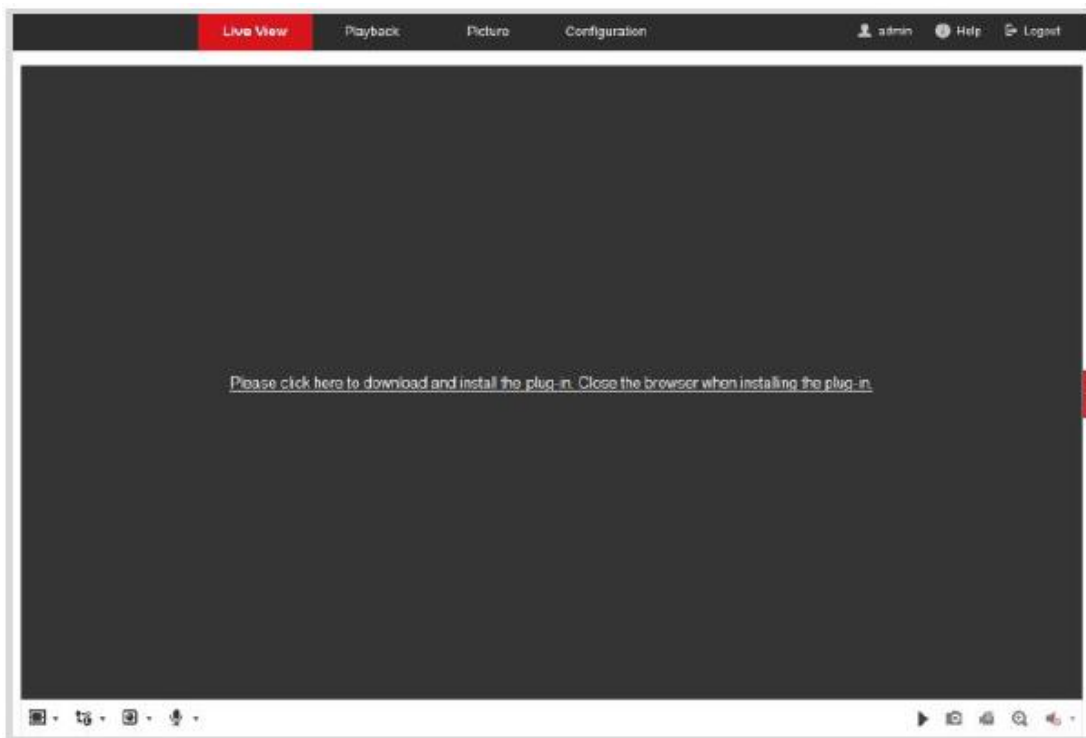


図 3-2 プラグインのダウンロード

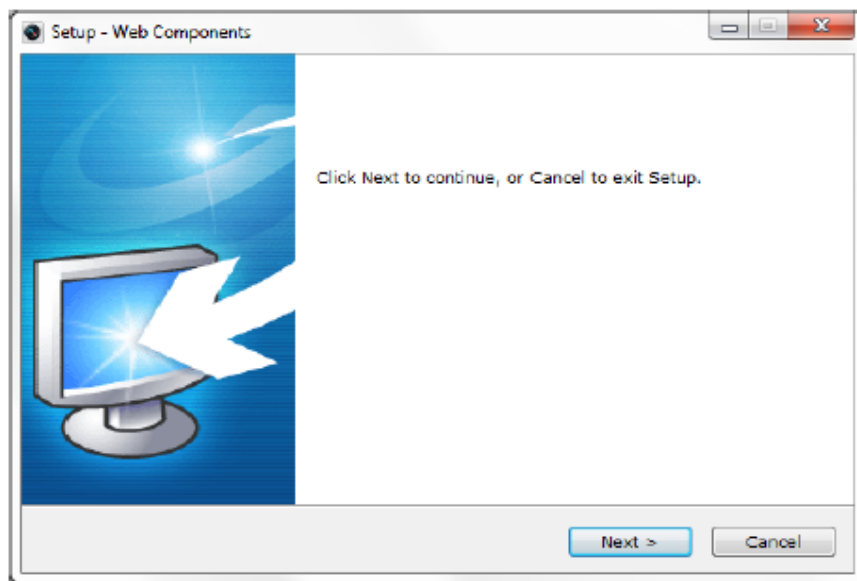


図 3-3 プラグインをインストールする

6. プラグインのインストール後にウェブブラウザを再度開き、上記の手順 2~4 を繰り返してログインします。



詳細な設定手順については、ネットワークスピードドームのユーザーマニュアルを参照してください。

0503101050819